

感染対策

感染対策、感染防止対策という言葉だと、なんか難しいことで自分ではできないのではないかと感じてしまうことはありませんか。まずは、手洗いから習慣にしてみませんか？

INFECTION
PREVENTION

いつでもできる感染対策を習慣づけましょう！

2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置づけの変更が行われ、政府が一律に日常における基本的感染対策を求めることはなくなり、マスクの着用は個人の判断となりました。しかし医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、引き続きマスクの着用が推奨されている場所があります。あさのクリニックでも、厚生労働省の通知に基づき、受診や受診付き添いで来院される際には、マスクの着用をお願いしています。ご理解ご協力よろしくお願いします。

手洗いの方法

- STEP 1**
両手のひらをこすり合わせるようにして洗う
- STEP 2**
手の甲と指の背をもう片方の手を使って洗う
- STEP 3**
両手の指を組み合わせるようにして洗う
- STEP 4**
手のひらを指を立ててこするように洗う
- STEP 5**
親指をもう片方の手で握るようにして洗う
- STEP 6**
手首を握るようにしわに合わせて洗う
- STEP 7** しっかりすすぎましょう

感染の原因は「接触感染」と、「飛沫感染」

感染は主に、手を介して感染する接触感染と、飛沫感染が原因といわれています。

- **接触感染** ウイルスが付いた手指で口や鼻や目に触れて、粘膜などを通じてウイルスが体の中に入り感染することです。
- **飛沫感染** 感染した人の咳やくしゃみで、飛び散った唾液や鼻水などの飛沫が口や鼻にかかる、吸い込むことで感染することです。

特別なことではなく、続けることのできる感染症対策を

- **手洗い** 接触感染を避けるための基本です。手は多くの場所に触れます。外出後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、食事の前、トイレの後、多くの人が触るものを持った後など、流水と石けんでしっかり手を洗う。またはアルコールでの手指の消毒でも構いません。
- **マスク着用について** 咳やくしゃみが出ている時は、マスク着用がすすめられています。新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザを含む風邪症候群が飛沫感染を主体とする為、会話の時や混雑する場所では、お互いに飛沫を飛ばさないようにマスクをしましょう。

咳エチケット

- 1 マスクをつける
- 2 ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う
- 3 上着の内側や袖(そで)で覆う



あさクリ コラム COLUMN 「処方箋の使用期間」

医療機関を受診し、処方せんを発行され、院外の薬局に提出して薬をもらう方が多いと思います。処方せんの使用期間は、原則、休日や祝日も含めて発行日から4日以内です。使用期間が過ぎた処方せんは無効となるので、4日以内に薬局へ提出ができない特別な事情がある際には、発行時にご相談ください、医師の判断で処方せんの使用期間を延長することができます。